

# 趣旨・会議経過説明

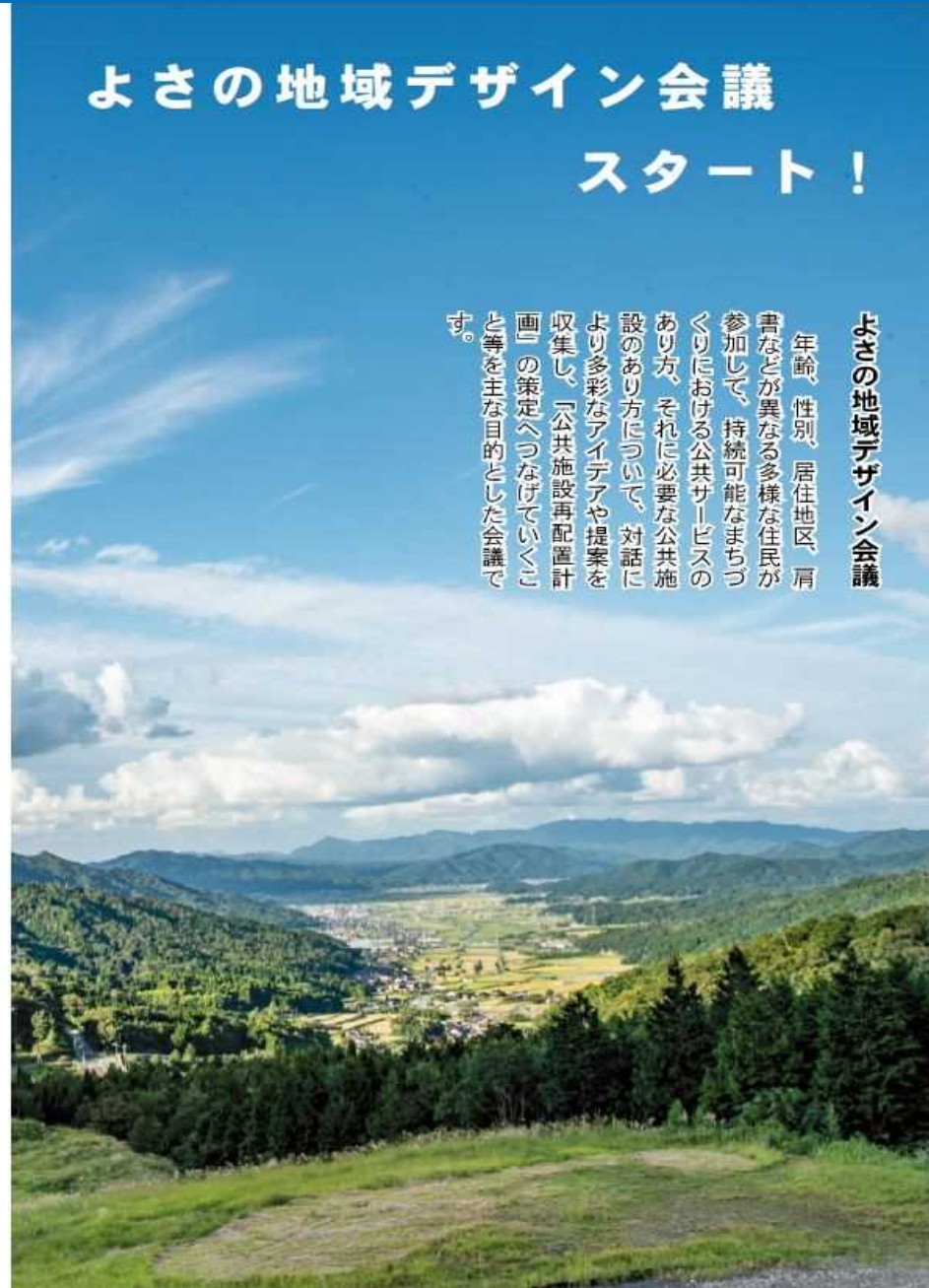
# よさの地域デザイン会議設置の趣旨

年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民が参加して、**持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方**について、対話により多彩なアイデアや提案を収集し、「公共施設再配置計画」の策定へつなげていくことなどを目的とした会議

## よさの地域デザイン会議

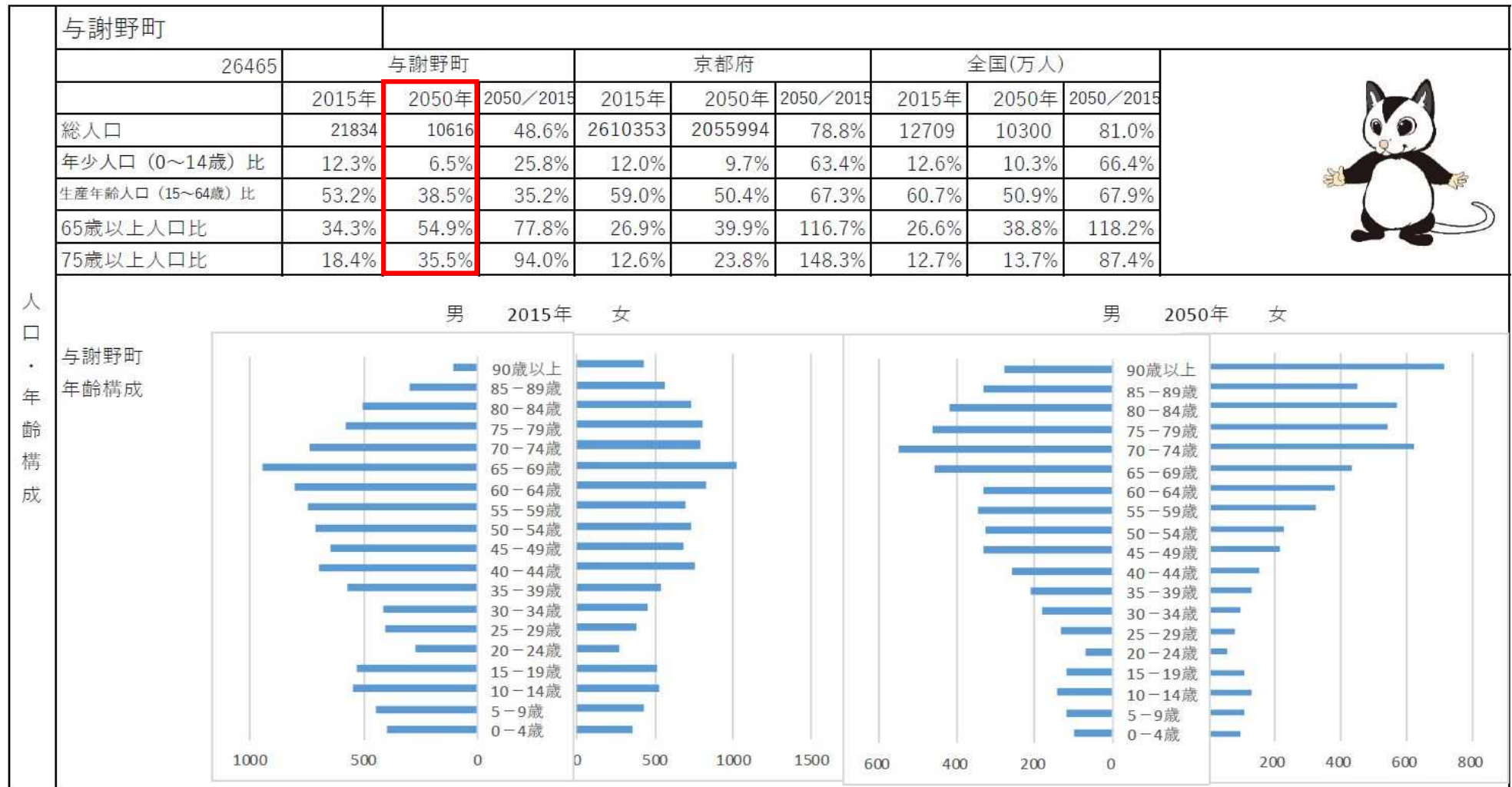
### スタート！

よさの地域デザイン会議  
年齢、性別、居住地区、肩書などが異なる多様な住民が参加して、持続可能なまちづくりにおける公共サービスのあり方、それに必要な公共施設のあり方について、対話により多彩なアイデアや提案を収集し、「公共施設再配置計画」の策定へつなげていくことを主な目的とした会議です。



# 人口及び人口構成の推移と将来の見通し

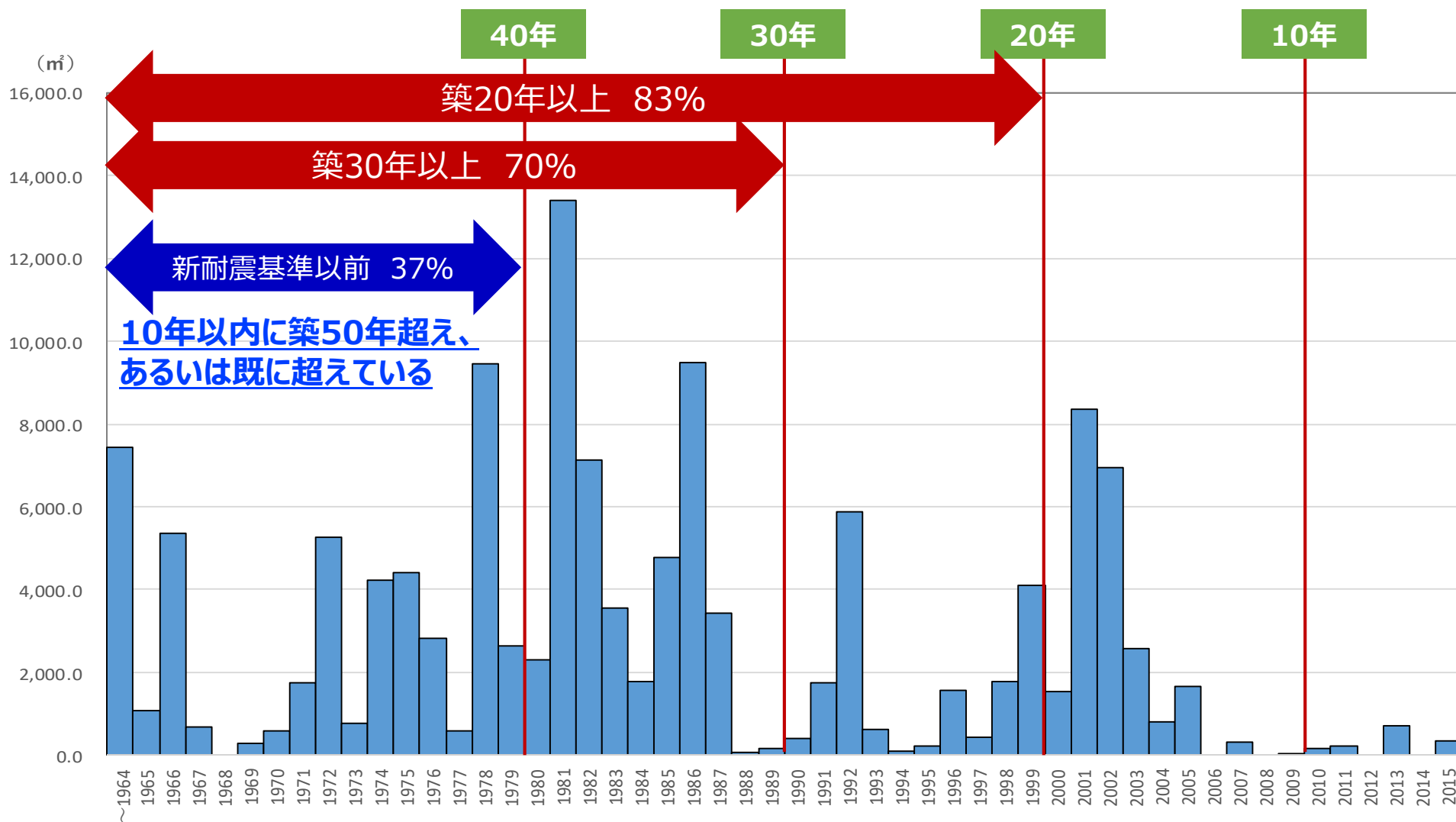
2015年に34.3%であった65歳以上人口比が、30年後の2050年には50%を超えるなど、人口構造が急速に変化



# 公共施設の築年度別整備状況

10年後には築40年を経過する施設が70%に達するなど、今後、多くの施設で改修や建替えの時期が到来

与謝野町公共施設白書

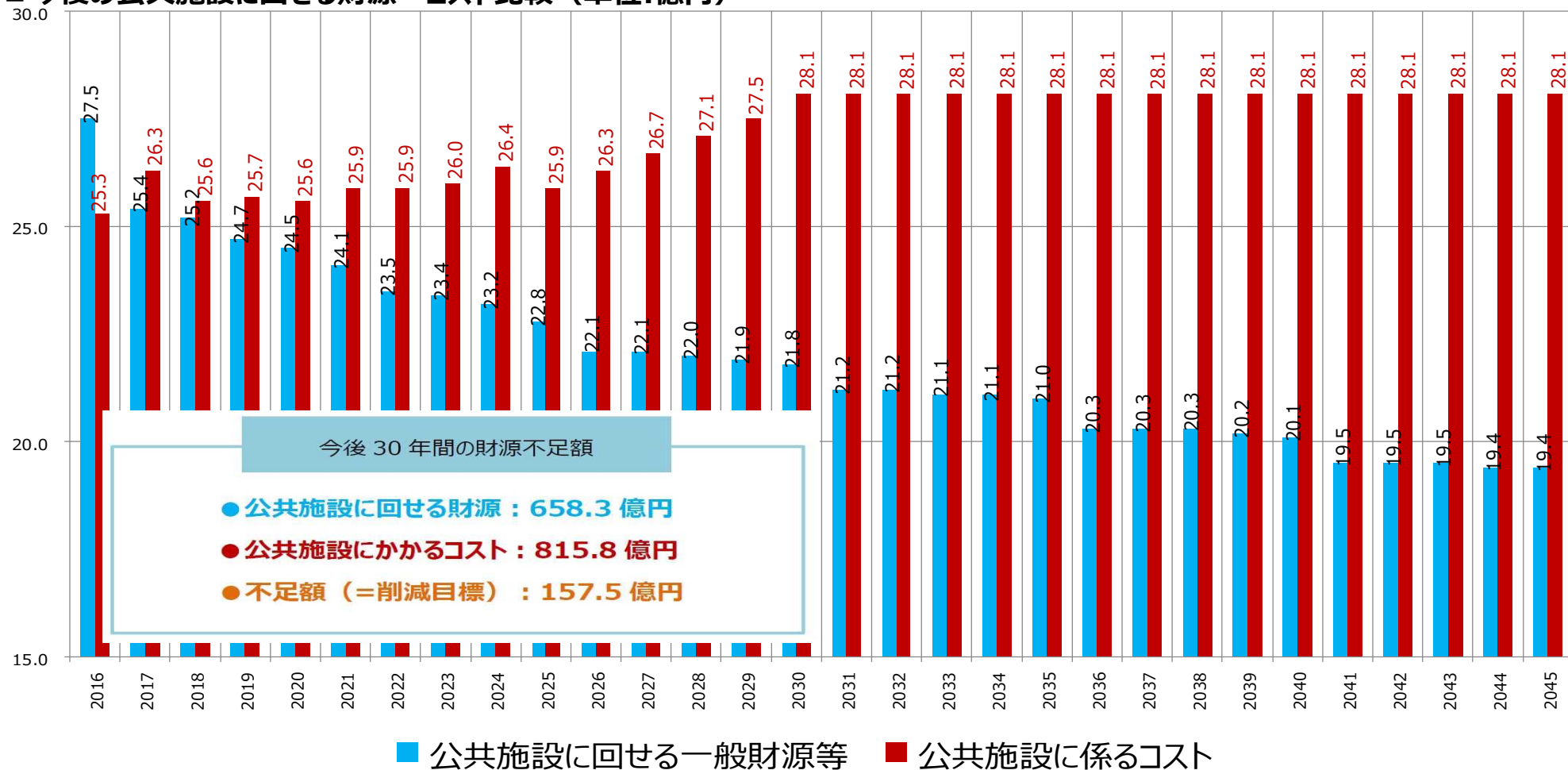


# 今後の公共施設に回せる財源とコスト比較

与謝野町公共施設等総合管理計画（基本計画）  
（2016（平成28）年）

現在の施設をそのまま維持・更新する費用を試算すると、今後30年間で  
総額815.8億円が必要（157.5億円が不足）

■ 今後の公共施設に回せる財源－コスト比較（単位：億円）



## 公共施設の更新問題

施設を放置、  
課題の先送り

**施設崩壊型**

全ての施設を  
修繕・更新

**財政破綻型**

施設を  
どんどん削減

**市民サービス  
破綻型**

- 1 必要な機能（市民サービス）を確保し市民の暮らしを守る。
- 2 次世代に負担を先送りしない。

**公共施設の総数を減らしながら**

**公共サービスの質の維持・向上**

# よさの地域デザイン会議における視点

公共施設は公共サービスを提供するための一つの方法



【 よさの地域デザイン会議 】

**公共サービスのあり方に視点を置いて、それに必要な公共施設のあり方を考える**

**ターゲットは2045年**

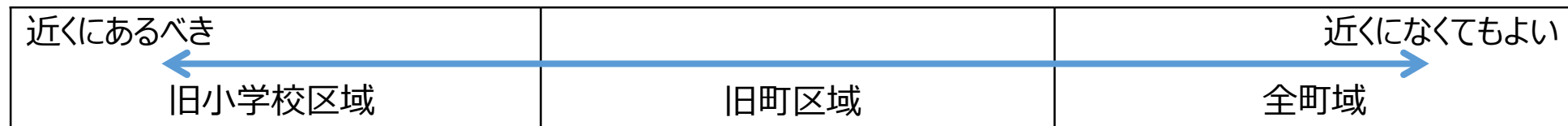


# 会議経過

8月22日（日） 13時30分～15時30分	キックオフミーティング（オンライン）	背景、目的、現状の共有
10月 8日（金） 19時～21時	第1回岩滝地域	公共サービスの利用圏域
10月 9日（土） 13時30分～15時30分	第1回野田川地域	
10月12日（火） 19時～21時	第1回加悦地域	
11月 1日（月） 19時～21時	第2回野田川地域	公共サービスの機能の組み合わせ
11月 2日（火） 19時～21時	第2回加悦地域	
11月 5日（金） 19時～21時	第2回岩滝地域	
11月21日（土） 13時30分～15時30分	中間全体会	各地域の進捗共有
12月 6日（月） 19時～21時	第3回野田川地域	地域や民間事業者による公共施設の新しい使い方
12月 8日（水） 19時～21時	第3回加悦地域	
12月10日（金） 19時～21時	第3回岩滝地域	
3月20日（日） 13時30分～15時	最終全体会（オンライン）	全体共有

# よさの地域デザイン会議の基本テーマ

## ① 公共サービスの「利用圏域」を考えよう



## ② 公共サービスの「集約」「複合」を考えよう



**「全町単位あるいは近隣市町との連携で必要なサービス（施設）」のあり**



**まちの1つあったら良い公共サービス（施設）のあり方**

## ③ 地域や民間事業者による公共施設の新しい使い方を提案しよう

